

**平成30年度 第3回 北杜市老人福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会
並びに北杜市地域包括支援センター運営協議会
会議録**

開催日時 : 平成31年2月28日(木) 13:30~14:55
出席者 : 委員13名(利根川会長、宮沢副会長、中島委員、大友委員、日野水委員、清水委員、浅川委員、藤森委員、石井委員、柴田委員、杉本委員、興石委員、三井玲子委員)
欠席者 : 委員4名(相沢委員、三井昇委員、小林委員、丸茂委員)
傍聴者 : 1名

1. 開会のことば(13:30)

事務局: 本日はお忙しい中、御出席いただきありがとうございます。ただいまより、平成30年度第3回北杜市老人福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会並びに北杜市地域包括支援センター運営協議会を開催いたします。(相互に礼)

本日は、相沢委員、三井昇委員、小林委員、丸茂委員の4名が欠席です。中島委員は少し遅れるとの連絡をいただいております。出席者が過半数を上回っているため北杜市老人福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会設置要綱第6条第2項の規定に基づき、本会議は成立いたします。

2. 会長あいさつ(13:34)

会長: あいにくの天気ではあるが少し乾燥もおさまるのではないかと思います。私のところでは少し雪も積もっていました。この前の書類を引き返したところ前回は8月29日の開催で、ちょうど半年ぶりで久しぶりではありますが議題もたくさんあるようなので積極的なご意見と慎重審議をお願いします。

3. 議事録署名人選出について(13:35)

事務局: 北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱第9条第3項第3号により、議事録署名人2名を選出したいと思います。議事録署名人は、清水毅委員と浅川一紀委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

一 同: 異議なし。

事務局: それでは、2名の方をお願いいたします。

事務局: 議事に先立ちまして北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱第3条の規定により本会議は公開としております。本日は傍聴人が1名いらっしゃいますが傍聴を認めてよろしいでしょうか。

一 同: 異議なし。(傍聴人が入場、資料配布。)

4. 議事(13:36)

(1) 保険者機能強化推進交付金の報告(13:36)

・保険者機能強化推進交付金の報告について、事務局より説明。

<質疑応答>

柴田委員：0点が13項目あるが12項目までは確認できたが、最後の1項目について介護保険安定化の部分でよいか。

事務局：そのとおり。

(2) 自立支援・重度化防止等の進捗管理「取組と目標」の報告(13:44)

・自立支援・重度化防止等の進捗管理「取組と目標」の報告について、事務局より説明。

<質疑応答>

大友委員：要支援1、要支援2の認定率の上昇について、認定審査会で認知症になれば要介護1になると思いますが、認知症になる寸前の人をここで事業として何か施策をしていくということか。(取組と目標に対する自己評価シート(フェイスシート)の地域ケア会議推進事業より。)

事務局：本市は比較的軽度のうちに申請をしている方が増えてきている。国の施策でも早い段階で申請をさせ、早めにサービスを利用させることにより重度化を防ぐということが言われている。要支援1及び要支援2でも軽度の認知症の方はいますが、週1回外出することやサービスを使うこと、人との交流ができることにより現状を維持する効果はある。要介護1の方でも適切にサービスを利用し、認知症の悪化を緩やかにするということが可能だと言われているので、それに力を入れて対応していきたい。

副会長：要支援1及び要支援2の認定率の上昇というのは単に要支援1及び要支援2が増えたのか要介護が改善し上昇したのか、その辺の状況は。

事務局：別冊①現状分析のP4～5に記載している。新規認定から1年を経過し、更新したときどう変化したか調査したもので、更新については本市では12箇月としているが、17.2%が軽度化、45.9%が維持、36.9%が重度化という結果になっている。特に、要支援1～要介護1の状況を見ると、要支援1は軽度化が2.7%、重度化が67.6%ということなので1年経つと介護度が上がってしまう状況になっている。これを維持、軽度化に努めていこうとするためにいろいろな施策を講じる必要がある。

三井委員：P33の課題と対応策について誤りやすい加算の請求はどういうものか。また、事案の公表についてどのように行っているのか。

事務局：過誤の多い加算として褥瘡(じょくそう)マネジメント加算がある。この加算は3箇月に1度しか取れない加算ですが、毎月請求し大量過誤となっている事業所がある。書面にて事業所に連絡し、会議等でも注意喚起を行っている。

三井委員：どのように公表しているか、今までもあったか。

事務局：2箇月に1度開催される地域ケア連絡会において書面にて配布をしており、注意喚起を行っている。

三井委員：利用者は承知しているのか。

事務局：事業者は加算について利用者に説明しているはずである。

(3) 地域包括支援センター事業について(14:05)

- ・①地域包括支援センターのあり方について、事務局より説明。

<質疑応答>

日野水委員：P34の下段、包括支援センターの特徴について、行政としての業務とセンターとしての業務が明確に区分けされていない部分があり両者間で一定のルールが必要とありますが、民生委員からすると地域から問題が出ると地域包括支援センターに相談するというワンストップの対応をしていただき、頼りにしている。業務を分割する予定なのか。

事務局：分割するというよりは、今までワンストップで受けていて地域包括支援センターの中で解決させてしまっていることが多く、それが課題となって市全体のものとして上がっていないので、それをきちんと行政サイドに上げていくことで課題を共有していくことが必要になるということでの記載となっている。

日野水委員：受け入れ態勢は今までと同じということか。

事務局：そのとおり。

- ・②介護用品支給事業について、事務局より説明。

<質疑応答>

特になし。

- ・③介護予防ケアマネジメントの委託契約について、事務局より説明。

<質疑応答>

会長：介護予防ケアマネジメント委託契約について、意見は無いようであるが、資料の法人に委託をすることについて承認してもらえるか。

一 同：異議なし。

会長：異議なしとのことで、承認された。

(4) 現状分析（サービス見込み量の進捗管理）(14:25)

- ・①H30.9月月報について、事務局より説明。

<質疑応答>

特になし。

(5) 第6次ほくとゆうゆうふれあい計画の策定に向けて(14:35)

- ・第6次ほくとゆうゆうふれあい計画の策定に向けて、事務局より説明。

<質疑応答>

特になし。

(6) 消費税率引上げに伴う社会保障の充実等(14:40)

- ・消費税率引上げに伴う社会保障の充実等について、事務局より説明。

<質疑応答>

特になし。

(7) その他(14:47)

- ・次回の予定議題、開催時期について、事務局より説明。

<質疑応答>

特になし。

5. 閉会のことば

事務局：盛りだくさんの内容で介護保険制度も複雑化しています。ご自宅に戻られて改めて質問等がありましたらお気軽にお問い合わせいただきたいと思います。

副会長：長時間にわたるご審議ありがとうございます。数字、資料の多さで戸惑っているが、昔であったら策定年度の間期間は意策定委員会も活発な議論が必要ではなかったが、国も評価指標でがっちりやれと、そうしないと補助金を出さないよということのようで、ますます策定委員の重要性を感じています。もし家に帰って読み込んで何か参考になる意見等が見つかりましたらぜひともお願いします。事務局からもあったが委員さん一人一人挙げていけばかなりの力になって行くと思います。長時間にわたりありがとうございました。

事務局：以上をもちまして、平成30年度第3回北杜市老人福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会並びに北杜市地域包括支援センター運営協議会を閉会します。御協力ありがとうございました。